



日本共産党大田区議会議員

大竹辰治 ミニレポート

発行 大竹辰治事務所
日本共産党 区議会控室
大田区蒲田 5-13-14
電話(5744) 1 4 7 7
事務所 大田区西蒲田 5-9-12
電話(3735) 2 6 1 1
自宅 大田区東矢口 3-11-19
電話(3736) 4 2 0 2
E-mail: tootake@apricot.ocn.ne.jp
http://tootake.jcp-ota.jp

補聴器助成各区の状況

	助成限度額	対象年齢
大田区	20,000	70歳以上
中央区	35,000	65歳以上
千代田区	50,000	20歳以上
文京区	25,000	65歳以上
港区	検討中	
新宿区	2,000	70歳以上
杉並区	25,000	65歳以上
練馬区	20,000	65歳以上
板橋区	20,000	65歳以上
台東区	20,000	65歳以上
墨田区	30,000	65歳以上
江東区	検討中	
荒川区	25,000	65歳以上
足立区	35,000	65歳以上
葛飾区	20,000	65歳以上

「価格が高い」が、一番多く、「補聴器を使用している」という動機になるものは「購入するかどうか」について、「購入費補助制度」を一番にあげています。

補聴器購入費助成の拡充・太陽光発電用パネル設置補助の復活 (大竹区議提案)

大竹区議は、第3回定例会決算特別委員会で、高齢者補聴器購入費助成事業の拡充を求めました。

現在、大田区では聴力機能の低下により家族等とコミュニケーションがとりにくい高齢者に対し、補聴器の購入に要する費用として、2万円を限度に助成します。一人1回限りで、修理代は対象外。対象は、住民税非課税世帯の70歳以上で耳鼻咽喉科の医師が補聴器の使用を必要と認めている方。ただし、聴覚障害による身体障害者手帳を所持している方は除きます。

難聴と認知症の因果関係については、厚生労働省から発表された「認知症施策推進総合戦略」(新オレンジプラン)では、認知症の危険因子7つあり、加齢、遺伝子性のもの、高血圧、糖尿病、喫煙、頭部外傷、難聴とされています。2025年に認知症高齢者は700万人、5人に1人に達することが見込まれています。その中でリスク要因として「難聴」が挙げられていますので、難聴への支援は認知症対策もなります。

また、党都議団のアンケートでは、平均購入金額は27万659円、「購入しなかった理由はなんですか」では、「価格が高い」

法律相談

顧問弁護士による法律相談です。

お気軽にご利用ください(毎月第2水曜日)

11月10日 (水)

午後1時～3時

場所 大竹辰治事務所 (西蒲田大城通り)

事前にお電話くださいTel (3735) 2 6 1 1

現在の助成額2万円の限度額引上げ、支給年齢を70歳から65歳までの引下げること。都の補助金(区の助成の2分の1)を活用することを求めました。

全公共施設に磁気ループを

次に、現在磁気ループ設置の公共施設について、大田区民ホール、大田区民プラザ、大田文化の森、大田区総合体育館、障がい者総合サポートセンターの5カ所で、全ての公の施設に、磁気ループやFM補聴システムを設置すること。未設置の施設には当面移動形の磁気ループを常備することを求めました。

太陽光パネル設置補助の復活を

全世界で気候危機とよぶべき非常事態が起こっています。

気候変動による脅威と被害は、日本でも「経験したことない」、極めて深刻です。

しかし、大田区では再生可能エネルギー利用の住宅用太陽光発電用パネルへの設置補助が2018年度末に終了しています。

改正地球温暖化対策推進法では、政府の温室効果ガスの削減目標は、2030年度まで「2013年度比で46%削減」を掲げていますが「2010年度比では42%」となり、国連が示した「2010年比45%削減」という目標に届かず全世界平均よりも低い、恥ずかしい計画です。

しかし、現在の大田区環境基本計画の温室効果ガス削減目標として、2013年度比で2030年度比26%ですので、これを46%まで削減することになり大幅に上回る計画になります。

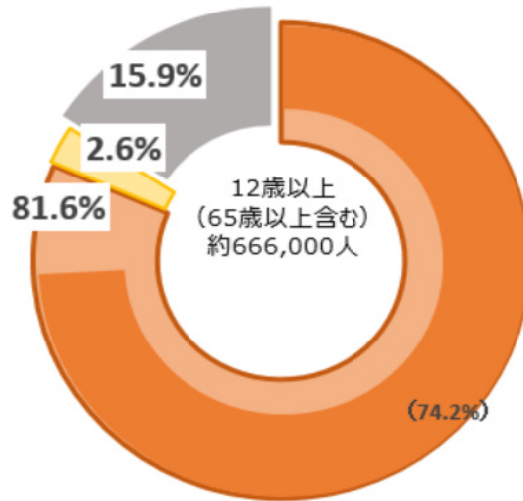
再生可能エネルギー利用の導入拡充で、地球温暖化防止の取組みをすすめていくうえでも、現在23区の中では18区が実施している復活を求めました。

新型コロナウイルスワクチン接種状況（速報値）

大田区ホームページより

総接種状況（12歳以上の総数）

	10月13日 時点	前日比
接種済人数（1回目） （注1）	543,134人 （81.6%）	+1,820人 （+0.3%）
接種済人数（2回目） （注1）	493,964人 （74.2%）	+5,032人 （+0.8%）
1回目予約者数（注2）	16,983人 （2.6%）	（-）
その他（注3）	105,883人 （15.9%）	（-）



週1回程度更新予定
10月12日現在

年代別接種率

年齢	1回目接種率	2回目接種率	1回目予約率
12～19歳	68.0%	53.3%	3.5%
20～29歳	72.9%	61.1%	2.2%
30～39歳	76.2%	65.5%	2.0%
40～49歳	80.3%	70.7%	1.8%
50～59歳	83.1%	75.4%	1.4%
60～64歳	88.0%	83.9%	0.6%
65歳以上	90.5%	88.4%	0.3%
総合	81.3%	73.4%	2.5%

（注）速報値にVRSの実績を加味した参考値です。